

鹿児島市生涯学習プラザ・男女共同参画センター舞台管理業務仕様書

鹿児島市生涯学習プラザ・男女共同参画センターの舞台管理業務に関する仕様の大要は次のとおりとする。なお、受注者は、現場の状況に応じて管理上必要と認める業務で契約上合理的な範囲のものについては、この仕様書に記載されていない事項であっても信義に従って誠実に実施しなければならない。

1 対象施設

鹿児島市荒田一丁目4番1号 鹿児島市生涯学習プラザ・男女共同参画センター

2 業務範囲

鹿児島市生涯学習プラザ・男女共同参画センターの講堂において行われる催し物に必要な舞台機構、舞台照明、音響、その他の舞台関係設備、備品等の舞台管理に関する一切の業務を行うものとする。

3 主な業務内容

(1) 講堂使用時における業務

- ① 舞台関係設備、備品等（舞台関係幕を除く）の準備、仕込み及び撤去、復元を行うこと。ただし、講堂使用者が行う場合及び舞台関係幕の取付けは、使用者に対して指導、助言、監督等を行うこと。
- ② 講堂使用者の持ち込む器具、機材等の搬入及び搬出に立ち会うこと。
- ③ 舞台関係設備、備品等の操作を行うこと。ただし、講堂使用者が行う場合は、舞台機構操作盤の操作を行い、その他の操作については指導、助言、監督等を行うこと。
- ④ 講堂使用に関し、講堂の附属設備、備品の使用数量等を確認し、附属設備・備品使用明細書を作成し、発注者に報告すること。
- ⑤ 火災等の防止と非常時の対応
 - ア 舞台関係設備、備品等の危険防止及び防災に努めること。
 - イ 火災発生の際には、消火器等での初期消火あるいは、使用者等の避難誘導を行うとともに直ちに発注者に報告すること。
- ⑥ 使用した舞台関係設備、備品等の数量を確認し、所定の場所に格納すること。この際、舞台関係設備、備品等あるいは施設に異常、破損等のあるときは、直ちに発注者に報告すること。
- ⑦ 講堂使用終了後、各操作室（調整室、音響室、調光室、調光盤室、ピンスポット室等）の清掃を行うこと。

※令和6年4月1日から令和7年2月28日までの間、①～④の業務を要しない。

(2) 通常時における業務

- ① 舞台関係の消耗品等の管理を行い、在庫に不足が生じたときは発注者に報告すること。
- ② 舞台照明の玉切れを交換すること。
- ③ 舞台関係設備、備品等を常に良好かつ安全な状態で使用できるように、清掃、手入れ等を行うこと。

- ④ 舞台関係設備、備品の操作及び管理に関して技術的な調査、研究を行い、講堂機能の改善に努め、必要と考えられる事項については発注者に具申すること。
 - ⑤ 講堂使用の打合せ
 - ア 講堂使用者と催し物についての打合せや連絡調整を行うこと。
 - イ 舞台関係設備、備品等の使用に関する見積りを提出すること。
 - ⑥ 講堂使用の問合せ
 - ア 講堂使用について助言等を行うこと。
 - イ 舞台関係設備、備品等の案内、相談等にあたること。
- ※令和6年4月1日から令和7年2月28日までの間、②の業務を要しない。また、令和6年4月1日から令和6年7月31日までの間、⑤講堂使用の打合せのアの業務を要しない。

(3) その他

- ① 講堂視察者に対する舞台設備の説明、案内等
- ② 舞台関係設備等の改修・修理等の業者との連絡調整及び点検修理時の立会い
- ③ 緊急の事故等の処置及び連絡、報告
- ④ スタジオ等の音響機器の調整等
- ⑤ 保守点検、修理、改修等の実施計画の設定の協力
- ⑥ 消耗品等の購入計画の協力
- ⑦ 舞台関係設備の改修に伴う打ち合わせの参加、機材の移動等の作業
- ⑧ 改修後の設備使用にかかる点検・調整

4 業務体制

(1) 業務時間

- ① 原則として、開館日の午前9時30分から午後9時30分まで（日曜日及び休日は、午前9時30分から午後6時まで）とする。ただし、施設使用の状況に合わせて、施設の管理運営上支障がない範囲において、受注者の申し出を発注者が了承した場合は、時間を変更できる。
- ② 令和6年4月1日から令和7年1月30日までは、火曜日から金曜日のうち、休日を除く日の午前9時30分から午後5時までとする。
- ③ 発注者が受注者の業務従事者に業務時間を超えて業務に従事させたときは、超過業務委託料を支払うものとする。超過委託契約については、別途入札を行うものとする。
- ④ 発注者の要請により追加の業務を行う場合は、4(1)③に記載の超過業務委託料を支払うものとする。

(2) 業務を要しない日

- ① 月曜日とし、その日が休日に当たるときは、その日後においてその日に最も近い日で休日でない日とする。
- ② 12月29日から翌年1月3日までとする。ただし、業務を要しない日であっても施設を開館する場合は、発注者の要請により業務を行うこととし、発注者と協議の上、他

の日時の業務時間で調整する。

- ③ 令和6年4月1日から令和6年11月30日までの土曜日、日曜日及び休日とする。

(3) 人員体制

- ① 令和6年4月1日から令和6年11月30日までの勤務を要する日は、原則1名の配置とする。
- ② 令和6年12月1日から令和7年2月28日までの日曜及び休日は、原則1名の配置とする。

5 報告

業務を行ったときは、次の報告書を提出するものとする。

- (1) 業務日誌（業務の都度）
- (2) 委託業務処理実績報告書（毎月）
- (3) 附属設備・備品使用明細書（附属設備、備品等の使用の都度）
- (4) 事故報告書（事故発生の都度）

6 責任者の責務

(1) 選任

業務従事者の中から責任者を1名選任するものとする。

(2) 責務

責任者は、専門技術をもって自らも受託業務に当たるとともに次の責務を負うものとする。

- ① 全業務従事者を統括し、発注者に対して業務従事者を代表する。
- ② 業務従事者の担当業務を定め、発注者に報告し、事故発生の場合はその責任の所在を明らかにする。
- ③ 業務従事者の出退勤を正確に把握し、記録する。
- ④ 始業に際し、業務日誌を作成し、翌日午前中までに発注者に提出する。
- ⑤ 発注者の指示する事項を遅滞なく全業務従事者に周知徹底させるとともに、直ちにこれを実施させる。
- ⑥ 責任者が不在のときは、従事者の中からあらかじめ発注者の承認を得て選任した代理者に責任者の職務を代行させる、

7 業務従事者の心得

- (1) 業務従事者は、常に名札を着用し、言葉遣いに注意を払い、服装を整え来館者に対しては親切、丁寧な対応を行い、不快の念を与えないようにしなければならない。
- (2) 業務従事者は、火災その他異常事態発生の際は、消火活動その他の必要な措置を講ずるとともに、発注者に連絡し、その指導に従わなければならない。また、復旧作業等の際は、全面的に協力すること。
- (3) 業務にかかる部屋は、常に整理整頓・清掃を行い、許可なく第三者の入室を行わせないこと。
- (4) 火災、盗難、事故等の予防には万全を期し、電気・ガスの漏洩に十分に注意すること。

8 特記事項

催し物の内容、性質等によって受注者がこれを実行することが困難と認められる催し物については、使用者と協同してこれを実行するものとする。なお、これらに要する費用は使用者の負担とする。

9 労働環境の確認に関する特記事項

- (1) 受注者は、本契約の履行に従事する従業員及び従事した従業員に係る労働環境に関し、鹿児島市指定の「労働環境に係る調査票」を記入し、本契約締結後及び履行完了後速やかに提出するものとする。
- (2) 発注者は、「労働環境に係る調査票」の内容に疑義が生じたときは、受注者の事業所等において、関係書類の確認、本契約の履行に従事する従業員及び従事した従業員からの聞き取り調査等を行うことができるものとする。
- (3) 発注者は、(2)の結果、受注者の本契約の履行に従事する従業員及び従事した従業員の労働環境が不適切であると認められる場合は、受注者に対し改善を指示するものとし、受注者は、当該指示により行った改善の内容を記載した報告書を発注者に提出するものとする。